

令和1年6月1日

勝林寺寺報

得至蓮華藏世界

即証真如法性身

遊煩惱林現神通 入生死闘示應化

得至蓮華藏世界

即証真如法性身

遊煩惱林現神通 入生死闘示應化

がざいぶん違うようです。

仕事時間にウエートが行き過ぎていることが日本の社会

過ぎて、働き方改革とい

うことが最近話題になっています。では、僧侶にとって何

が仕事で、何が遊びなのか?

この境はとても難しいところ

です。私が布袍・輪袈裟をつければ、カールも遊びをせがむことをあきらめ、藤子もニヤーニヤー寄ってきませんので、それはお父さんの仕事モードなのだと心得ているのでしょうか。仕事

というものがお金を得ることを目的とした働きだと考えれば、お葬式や法事でお経をあげるこ

とが仕事となり、お布施が代金のように思われます。実際嘘か本当か、料金表を出されているお寺もあるそうですが、私にとって仏事は決して仕事ではなく、ともにお念仏を喜ぶ門徒の皆さんとともに勤める仏恩報謝の営みです。

仏さまも時間外労働で私たちを忙しく救い出

す。毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

ぐらいの心地よいお天気でした。

今年は、法輪会のお世話をしていた方の改

遷が行われました。(後に記載)そのあと皆さん

で、懇親会をしました。五百円の会費で、坊守

が、ない腕によりをかけて(?)賄います。メ

ニューはちらし寿司とおでん、デザートゼリー

で毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

ぐらいの心地よいお天気でした。

今年は、法輪会のお世話をいたしました。役員の

問題となり、働き方改革とい

うことが最近話題になっています。では、僧侶にとって何

が仕事で、何が遊びなのか?

この境はとても難しいところ

です。私が布袍・輪袈裟をつければ、カールも遊びをせがむことをあきらめ、藤子もニヤーニヤー寄ってきませんので、それはお父さんの仕事モードなのだと心得ているのでしょうか。仕事

というものがお金を得ることを目的とした働き

だと考えれば、お葬式や法事でお経をあげるこ

とが仕事となり、お布施が代金のように思われ

ます。実際嘘か本当か、料金表を出されているお寺もあるそうですが、私にとって仏事は決して仕事ではなく、ともにお念仏を喜ぶ門徒の皆さんとともに勤める仏恩報謝の営みです。

仏さまも時間外労働で私たちを忙しく救い出

す。毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

ぐらいの心地よいお天気でした。

今年は、法輪会のお世話をいたしました。役員の

問題となり、働き方改革とい

うことが最近話題になっています。では、僧侶にとって何

が仕事で、何が遊びなのか?

この境はとても難しいところ

です。私が布袍・輪袈裟をつければ、カールも遊びをせがむことをあきらめ、藤子もニヤーニヤー寄ってきませんので、それはお父さんの仕事モードなのだと心得ているのでしょうか。仕事

というものがお金を得ることを目的とした働き

だと考えれば、お葬式や法事でお経をあげるこ

とが仕事となり、お布施が代金のように思われ

ます。実際嘘か本当か、料金表を出されているお寺もあるそうですが、私にとって仏事は決して仕事ではなく、ともにお念仏を喜ぶ門徒の皆さんとともに勤める仏恩報謝の営みです。

仏さまも時間外労働で私たちを忙しく救い出

す。毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

ぐらいの心地よいお天気でした。

今年は、法輪会のお世話をいたしました。役員の

問題となり、働き方改革とい

うことが最近話題になっています。では、僧侶にとって何

が仕事で、何が遊びなのか?

この境はとても難しいところ

です。私が布袍・輪袈裟をつければ、カールも遊びをせがむことをあきらめ、藤子もニヤーニヤー寄ってきませんので、それはお父さんの仕事モードなのだと心得ているのでしょうか。仕事

というものがお金を得ることを目的とした働き

だと考えれば、お葬式や法事でお経をあげるこ

とが仕事となり、お布施が代金のように思われ

ます。実際嘘か本当か、料金表を出されているお寺もあるそうですが、私にとって仏事は決して仕事ではなく、ともにお念仏を喜ぶ門徒の皆さんとともに勤める仏恩報謝の営みです。

仏さまも時間外労働で私たちを忙しく救い出

す。毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

ぐらいの心地よいお天気でした。

今年は、法輪会のお世話をいたしました。役員の

問題となり、働き方改革とい

うことが最近話題になっています。では、僧侶にとって何

が仕事で、何が遊びなのか?

この境はとても難しいところ

です。私が布袍・輪袈裟をつければ、カールも遊びをせがむことをあきらめ、藤子もニヤーニヤー寄ってきませんので、それはお父さんの仕事モードなのだと心得ているのでしょうか。仕事

というものがお金を得ることを目的とした働き

だと考えれば、お葬式や法事でお経をあげるこ

とが仕事となり、お布施が代金のように思われ

ます。実際嘘か本当か、料金表を出されているお寺もあるそうですが、私にとって仏事は決して仕事ではなく、ともにお念仏を喜ぶ門徒の皆さんとともに勤める仏恩報謝の営みです。

仏さまも時間外労働で私たちを忙しく救い出

す。毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

ぐらいの心地よいお天気でした。

今年は、法輪会のお世話をいたしました。役員の

問題となり、働き方改革とい

うことが最近話題になっています。では、僧侶にとって何

が仕事で、何が遊びなのか?

この境はとても難しいところ

です。私が布袍・輪袈裟をつければ、カールも遊びをせがむことをあきらめ、藤子もニヤーニヤー寄ってきませんので、それはお父さんの仕事モードなのだと心得ているのでしょうか。仕事

というものがお金を得ることを目的とした働き

だと考えれば、お葬式や法事でお経をあげるこ

とが仕事となり、お布施が代金のように思われ

ます。実際嘘か本当か、料金表を出されているお寺もあるそうですが、私にとって仏事は決して仕事ではなく、ともにお念仏を喜ぶ門徒の皆さんとともに勤める仏恩報謝の営みです。

仏さまも時間外労働で私たちを忙しく救い出

す。毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

ぐらいの心地よいお天気でした。

今年は、法輪会のお世話をいたしました。役員の

問題となり、働き方改革とい

うことが最近話題になっています。では、僧侶にとって何

が仕事で、何が遊びなのか?

この境はとても難しいところ

です。私が布袍・輪袈裟をつければ、カールも遊びをせがむことをあきらめ、藤子もニヤーニヤー寄ってきませんので、それはお父さんの仕事モードなのだと心得ているのでしょうか。仕事

というものがお金を得ることを目的とした働き

だと考えれば、お葬式や法事でお経をあげるこ

とが仕事となり、お布施が代金のように思われ

ます。実際嘘か本当か、料金表を出されているお寺もあるそうですが、私にとって仏事は決して仕事ではなく、ともにお念仏を喜ぶ門徒の皆さんとともに勤める仏恩報謝の営みです。

仏さまも時間外労働で私たちを忙しく救い出

す。毎年同じですが、味はなぜか、毎年変わりま

す(笑)今年は、リンゴをたくさんいただいた

ので「リンゴのコンポート」も加えました。皆

さん、いつも気を使って「美味しいわ」と言

ってくださいます。今年は、「親鸞さま」の絵本

の読み聞かせとクイズも楽しみました。たのし

うでしょ。まだ参加されたことのない方も来

年はぜひご参加ください。お待ちしています。

正信偈のお勤めの後、住職の法話を聴聞し

ています。今年は、冷めたお茶がちょうどいい

仏について

仏とは、もともとお釈迦様のことを言います。

いまから一五〇〇年の昔、インドに生まれられた釈尊が六年の苦行の末に「さとり」を開かれて、仏になられたのです。だから仏とは、「さとり」を開いた人ということを意味します。

そこでその「さとり」とは、この宇宙、世界に貫徹している道理、真理について、正しく見し、それに「めざめる」といいます。私たちの現実の生活は、そういう「さとり」とは反対の、「まよい」の日々を送っているわけです。「まよい」とは真醉のことです。とにかく醉って、自分がわからなくなっていることです。私たちの日々の生活は、一寸先も見えないままに、常に損が得か、勝つか負けるか、自己中心的にあくせくしながら、さまざまな悩み、苦しみを背負うて生きております。

そこで仏教は、その「さとり」の立場から、私たちの「まよい」に向かって、そういう自己中心的な「まよい」に目覚めて、正しい道を生きるように教えます。どうすればそうなりうるのか。

仏とは、また「如來」とも言います。如來の如とは真如のことと「ま」とのことで、それを来とは来る」として、仏、如來、その「さとり」とは、いつも私に向かって到来し、働きかけているという事です。親鸞は、この仏、如來について

カリと光る仏の生命が届いているのです。

真宗念佛の教えとは、そういう私の生命に届いている仏の生命に、深く「めざめ」していく

とを教えるものです。果てることもなく「まよ」続けているこの私が、仏の「さとり」の生命をいただいて、今日も又生かされて生きるという、まことに不思議な事実に気付かされ、それについて「めざめ」していくのです。

すなわち、その日々を仏壇を大切にして、お念仏を申して、その念仏は、私から仏に向かって自分を名乗つていてくださる、仏の喚び声だと思い取り、そのように味識していくのです。

浅原才市同行の歌に、

「如來さんはどこにある、如來さんはここにおる。才市が心にみちみちて、南無阿弥陀仏をもうしておるよ」

というものがあります。まことに深い味わいで生きるほかはありませんが、まよとのお念仏に生きるならば、その「まよい」の日々の中にも、「さとり」、その生命と一緒に生かされて生きていいくという、新しい人生の道が開けてくるので

(信楽峻磨遺稿法語集より引用)

法語カレンダー六月

無碍の光明信心の人を

つれにアーラーだもう

どすん

住職と私そして母の三人で暮らしていた我が家に、四月から若院が加わり喜んでいたのに、五日後に

母が亡くなり、また三人になってしまった我が家です。思えば、この四年ほどの間に、我が家に暮らす家族は、目

祖母は百歳まで元気に生きて、この世のいのちを終えていきました。その祖母が九十五歳の頃だったでしょうか。久しぶりに寺を尋ねると「よう来たね、どないや?」と優しく迎えてくれました。しかし、しばらぐすると「お帰りになつたら、お父さん、お母さんによろしく言つてないの?」と衝撃が走つたことを覚えていました。たとえおばあちゃんが孫をわすれても、孫の私がおばあちゃんをきちんと覚えているがら心配ないと言ひ聞かせるようにして、帰宅しました。それから数年して祖母はいのちを終えていきました。ご縁がととのえば、もしかしたら生きるほかはありませんが、まよとのお念仏に生きるならば、その「まよい」の日々の中でもうすこし生き永らえることができていたかも知れません。でも、そうすると、もう孫の私のことを、さらには自分のことも完全に忘れてしまふ日がそろ遠くはなかつたでしょう。祖母だけの話ではありません。いのちを終えていくときは、どのようになつているのかだれもわかりません。

そんな時、たつたお一人ですが、決して私を一人にはさせない、忘れはしないというお方がいてくださいます。阿弥陀さまです。阿弥陀さまは常に私を照らし、必ず救うと一緒してくれています。阿弥陀さまです。阿弥陀さまを忘れ、「南無阿弥陀仏」を忘れて、私を忘れる」とのない阿弥陀さまでした。常にご一緒に暮らす阿弥陀さまに照らされた私は、安心して生きて、安心していのちを終え

（文責 坊守）